

ター資料情報課が受け入れた資料から選ばれる。したがって、日本中の全資料が収録されるわけではない。裏を返せば、GEOLISに収録された論文は、必ず地質調査所にある。GEOLISの内容を充実させるためには、論文の著者の協力が不可欠である。論文の著者が、自分の書いた論文がGEOLIS掲載に相応しいと判断した場合には、地質調査所に寄贈し、質・量ともにGEOLISを充実させたいものである。

6. おわりに

フリーソフトウェアは作成者とユーザーがパソコン通信によって密に連絡を取り合い、完成するものであり、その結果、素晴らしいソフトウェアが出来上がる。GEOLISも同様にユーザーが作成者に積極的に連絡し、その改善を図れば、実に使いやすいものになる。

GEOLISは日本唯一の地質文献データベースであり、地質研究に不可欠なものである。この素晴らしいデータベースがごく一部の研究者にしか知られていないのは返す返すも残念である。地質研究者がこぞってGEOLISを活用し、その発展につくせば、この日本の誇るデータベースがますます充実したものになるに違いない。

GEOLISには、あなたの論文も入っていますよ。
謝辞：本研究は、通商産業省工業技術院地質調査所作成のパーソナルコンピュータ用GEOLIS検索用プログラムを使用した。同調査所の中沢都子氏及び菅原義明氏には、GEOLISについて多くの資料、御教示をいただいた。ここに厚く感謝する。

文 献

本荘時江・武田福美・菅原義明(1987)：日本地質文献データベース：GEOLISの作成と紹介。地質ニュース，no. 396, 52-60
 本荘時江・菅原義明(1990)：日本地質文献データベース GEOLISの構築に関する問題点およびフロッピーディスクによる公開版。情報地質，1, 1, 51-57
 石渡 明(1994)：オフライン文献データベース“ALLIS”の公開。地質学雑誌，100, 189
 南 寿宏(1994)：日本地質文献データベース GEOLISの使用について。高知県教育センター紀要，30, 29-40
 中沢都子・菅原義明・曾屋真紀子(1994)：GEOLISの紹介。地質と調査，2, 9-12
 野呂春文・村田泰章(1989)：GEOLIS フロッピーディスク公開版の利用法と作成に関わる問題。地質ニュース，no. 420, 26-33
 菅原義明(1990)：パーソナルコンピュータ用 GEOLIS 検索利用プログラムの開発とその利用。情報地質，1, 2, 227-234

MINAMI Toshihiro (1995): What is GEOLIS?

<受付：1995年2月13日>

GEOLIS(日本地質文献データベース)1994年フロッピーディスク及び地質文献目録1981年版フロッピーディスク公開のお知らせ

地質調査所が1986年から構築しております GEOLIS の1994年フロッピーディスク版と、1985年以前の地質文献目録の遡及版の1981年フロッピーディスク版が完成いたしました。下記の要領で無償配布いたします。バックナンバーにつきましても同様の要領でお申してください。

記

期 間：1995年12月末まで

データ内容：日本地質文献目録(1986-1994年)

合計 約71,000論文

地質文献目録(1981-1985年)

合計 約25,000論文

申込み方法：依頼文書(自由形式)による

ただし、以下のものを同封して下さい。

- 地質調査所ソフトウェア利用申請書(暫定)
(必ず自署して下さい。ただし、一度提出されている方は不要です)
- フロッピーディスク(3.5インチ, 5インチ)
1981-1985年 1年分につき1枚

1986-1990年 1年分につき2枚

1991-1994年 1年分につき3枚

フリーソフトウェア LHA で圧縮したのも用意しました。その枚数は以下の通りです。

1981-1985年 5年分で2枚

1986-1994年 1年分につき1枚

必要年数および圧縮したものがどうかを明記し、必要枚数を同封して下さい。

• 返信用切手貼付、返信先の住所・氏名を記入した返信封筒(郵便に限る)

• 利用プログラムが必要な方は、フロッピーディスクを1枚多くいれて下さい。

申込み先：〒305 つくば市東1-1-3

地質調査所 地質情報センター 資料情報課

問い合わせ先：担当者 菅原 TEL. 0298-54-3604

冊子体の1994年日本地質文献目録も印刷中です。併せてご利用下さい。(価格未定)